



## 能の本

図書館長 清田正喜

いたずらに、「時」に追われて、じっくり「本」が読めないと、「考え」までが揺れ動く。かくてはならじ、と力んでいたら、学会から通知が来た。日本歌謡学会春季大会である。

古代歌謡は庶民の歌ぐえとして、今も歌詞が脈々と続いている。さらに領域を広げれば、『うたひもの』すべてが研究の対象になる。その意味で、このたびの学会は、協賛能として「経政」その他が、梅若能楽学院会館で上演された。名人梅若六郎氏ご一家の厚志によるものであった。とくに六郎氏のシテによる経政は圧巻である。わたしは神枝に魅いりながらも、ふと「考え」が頭をもたげる。

舞台芸能としての「能」と、文学としての「うたひ」が心で分離する。能作者世阿弥はまずもって平家物語に取材していることだ。音楽道に生きようとして果たし得なかった経政の苦悩は、歌道を捨てきれなかった忠度の執心と同じく、都落ちによって終止符をうった武人哀話なのだ。この平家文学の能化が「能の本」として謡われて、室町ごろに「うたひ」と称し、フシをつけては「うたひの曲」、すなわち近世で「謡曲」というようになった。そうすれば、せりふを軸とした劇ではことばが基本となる。文学的修辞がわからなければ演劇鑑賞は半減する。とくに物語性の強い歌詞をもった劇的構成の中ではなおさらのことであろう。中世末期の武人は好んで観能し、近世初期の町人は「謡曲」を教養のはじめとした。がそのう

ちの何人が素地文学のあやを理解し得たことであろうか。「門前の小僧」は、けだし「お経」はそらんじて、その教理にまでは手が届かぬ。それにも似て、シテとワキの問答から流れるように地謡へ入っていく謡曲文学の叙述の妙味、いわば古典のひびきが読解できねば、どうして能本来の幽玄を感得できようか。ハヤシと舞いはことばによって止揚されるのだ。わたしは手にした「能の本」と能舞台とを半々にして、「観る」ことに「読む」ことが先行するように思えてならなかった。

## 告知板

## ○ 開架閲覧室閉室について

○きたる6月12日(金)午前10時から、本学において、私立大学図書館協会西地区部会が開催されます。ついては、当日は正午で開架閲覧室を閉じますからご了承ください。学習室は平常どおり開きます。

## ○ 国連寄託図書館の移動

これまで4階に置いてあった国連寄託図書館を、1階に移動しました。ホールの東側、以前休憩コーナーであった場所が、国連寄託図書館の閲覧室となります。それにともなって、新聞閲覧台や休憩用ベンチが若干移動しました。

## ○ 国連寄託図書館の利用手続

1階に設置された国連寄託図書館を利用するときは、学習室と同様に学生証を見せては行ってください。なお、国連資料は室内で閲覧するだけで、館外に貸出ししないことになっています。

## 辞典のじょうずな使い方 その3

## 国語辞典・漢和辞典・国語表記辞典など

文学部講師 山中耕作

☆☆☆



学問する者にとって、国語辞典・漢和辞典・国語表記辞典はたいせつな伴侶です。本学図書館には長年の努力で、各社の辞典が、種々とりそろえてあります。このうち評判の高い辞典の

使い方を、簡単に述べてみます。

まず国語小辞典から申しますと、角川の『国語辞典』(武田・久松編・7万2千語と久松・佐藤編・7万5千語)・三省堂の『明解国語辞典』(金田一京助監修・6万7千語)は語学的配慮が行き届いています。また古典読解のための小辞典としては、大修館の『基本古語辞典』(小西甚一著 6千語)・三省堂の『明解古語辞典』(金田一父子監修・3万8千語)などが比較的すぐれているようです。これらで、ちょっとした日常のことはじゆうぶん間に合います。

しかし大学生の座右のものとしては、13万～20万語程度を収録した中辞典以上のものが望ましい。この種のもの、百科的国語辞典であることが多い。三省堂の『広辞林』(金沢庄三郎編・13万6千語)・『辞海』(金田一京助編・13万語)・小学館の『言林』(新村出編・17万語)・岩波の『広辞苑』(新村出編・20万語)が有名です。とりわけ『広辞苑』は諸科学の最新の成果を集約してしかも平明、語彙も豊富でほとんど万能といつてよろしい。

もし上記辞典で満足できないときは、富山房の『大言海』(大概文彦著・20万語)・『大日本国語辞典』(上田・松井著・22万語)を引くとよい。名著で、わが国近代国語辞典の双璧といわれる大辞典です。前者は記述詳細、出典、語源に意を用い、後者は語彙広く、語釈態度はすこぶる穩健妥当といわれています。浅いが、平凡社の『大辞典』(13巻・70万語)もよろしい。

よく云われる注意ですが、辞典を使うときは、

まず「凡例」をよく読むこと。辞典というものは極度に圧縮してあるものです。だから記号が多く、約束ごとが多いのです。辞典の用法がわからねば、解決は得られません。次に関連項目をこまめに調べること。小項目辞典では、本来一つの事柄にまとめるべき語を、五十音順に無理にバラしているからです。また各種の辞典を併用し、比較検討して自ら考えること。作品別辞典・時代別国語大辞典・百科辞典・東京堂の特殊辞典シリーズなどを併用します。もし『源氏物語』で解釈不明のことばがあるとすれば、まず『大言海』・『大日本国語辞典』で一般的意味を探ったあと、『源氏物語辞典』(北山谿太編)を引く。この辞典で『源氏』における語意の原型を把握したら、こんどは『枕草子』をひもといてみるのです。きっとことばが息づいてまいります。上記のような作品別辞典に、平凡社の『万葉集事典』(佐々木信綱編)・富山房の『近松語彙』(樋口慶千代編)などがあります。

漢和辞典は、講談社の『大字典』(上田万年ほか編・1万7千字)・三省堂の『新漢和中辞典』(長沢規矩也編・1万1千字)・角川の『漢和中辞典』(貝塚樹ほか編・9千字)などがよい。特に角川は読解に周到的な配慮が払われています。付録の文法編も捨て難い。このほか学燈の『漢字語源字典』(藤堂明保著・4千字)は、漢字の語源を科学的に究明した珍しい辞典です。専門的な辞典として、大修館の『大漢和辞典』(諸橋徹次編・13巻・4万9千字)があります。不朽の名著でしょう。字数においても『康熙字典』をはるかにしのいでいます。

正しい文章を書くため、ぜひ机上に備えたいのが表記辞典です。三省堂の『明解国語表記辞典』(金田一京助監修)・第一法規の『常用国語表記辞典』(文化庁国語課校閲)が正確。特に三省堂は用例が豊富で、迷うことがなくなりました。

<ニュース>

図書館委員会

- 45. 5. 1 (議題) ①昭和44年度図書費決算について ②昭和45年度図書費配分案 ③図書費残高引上額の処分について(保留) ④別途積立金残高の処分案 ⑤学生購入希望図書の取り扱い ⑥注文伝票の取り扱いについて。

職員会

- 45. 5. 6 ①私立大学図書館協会西地区部会の準備) ②新刊棚について

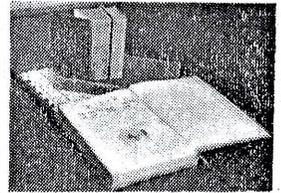
司書会

- 45. 4. 1 ①延滞金の取り扱い ②在庫調査の結果について
- 45. 5. 4 西地区部会の日程について
- 45. 5. 7 西地区部会の予算について
- 45. 5. 14 国連資料の移動についてほか

■ ヘブライ大学よりの寄贈書

このたび、本学の関谷教授のご尽力で、イスラエル共和国のヘブライ大学民族図書館から、ユダヤ教に関する

文献 118冊が寄贈されました。中には、1800年代の貴重な文献も含まれていて、図書館の蔵書に一段と精彩が添えられることとなりました。近くその一部を展示する予定です。



■ 短期大学部児童教育科関係の図書の配置

児童教育科関係の図書は、これまで3階の奥にまとめて並べてありましたが、この夏休みに、再整理のうえ、それぞれの分類に応じて分散することになりました。並んでいる場所がわからないときは、係員にお尋ねください

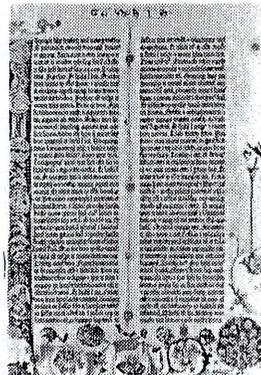
■ 学習室に絵が飾られた

本学の学生から絵が寄贈されました。一つは、72期生井上兼次君の作品で能面を描いたもの、もう一つは、70期生林郁子さんおよび浜井まりさんの共同作品で牛を描いたものです。いずれも学習室に飾りました。

世界最初の印刷本

司書長 山下 和夫

近代文明への最大の貢献の一つに、ヨハン・グーテンベルク (Johann Gutenberg, 1398-1468) による活版印刷術の発明があります。彼以前にも、印刷に木版を用いた人はあったのですが、それは大きな木片に文字や絵を彫って、一頁全体の版を作ったにすぎませんでした。グーテンベルクは、バラバラの鉛製の活字を、必要に応じて一頁の版に組み立てることを考え出したのです。こうすれば、一頁の版を作るのも容易ですし、用がすめば、それをくずしてまた新しく使うこともできます。なかなかうまい着想です。こうして、1455年ごろ世界最初の活版印刷本としてラテン語の聖書が生まれたのでした。最初に選んだのが聖書であるということは、当時聖書が書物の中の書物として尊重されていたこと、また需要が大きく、印刷すれば十分採算がとれると見たことによるのでしょう。これが一般に、「グーテンベルク聖書」または「42行聖書」、「マザラン聖書」などとよばれているものです。それは641葉から成り、各頁は42行になっています。印刷した部数は 100部内外と想像されていますが、現存するもの 45部、うち



11部が羊皮紙にたいへん美しく印刷されています。頭文字は、一つ一つ手で描かれたのではないのでしょうか。色あざやかな

花文字と模様が目を楽しませてくれます。ところで、このようなすばらしい本は、一体いくらぐらいするのでしょうか。記録によると、1926年ベルリンの Dr.

Otto Vollbehr は、セントポール寺院より羊皮紙本のグーテンベルク聖書を約1億円で購入し、さらにこれを1930年米国議会図書館 Library of Congress が約1億8千万円で入手したとのことです。もし今日、これが売りに出されたら、おそらく3億~4億の売値がつけられるだろうと言われ、世界で最も高価な本とされています。このような高価な本は、とうてい求むべくもありませんが、先日書店のカタログを見ていましたら、「3億6千万円

の聖書が、たったの2万8千円で！」とあり、タメゴローならずとも、あっと驚きよくよく見ると、2色刷りの複製本の案内でした。この複製本が、つい最近神学部分館に購入されました。原本に比肩すべくもないことは当然ですが、西欧文明史上の一大記念碑であり、また世界で最も高価な珍本であるグーテンベルク聖書をしのぶことができます。近く展示したいと考えています。

昭和44年度 図書館統計

▶ どんな内容の本がどれだけ増加したか

(昭和44年度増加冊数)

| 区分  | 分類 | 総記    | 哲学    | 歴史  | 社会科学  | 自然科学 | 工学  | 産業    | 芸術  | 語学  | 文学    | 計      |
|-----|----|-------|-------|-----|-------|------|-----|-------|-----|-----|-------|--------|
| 和   |    | 383   | 811   | 604 | 6,265 | 674  | 284 | 1,065 | 349 | 463 | 1,191 | 12,089 |
| 洋   |    | 1,272 | 554   | 300 | 2,184 | 241  | 60  | 225   | 51  | 499 | 1,866 | 7,252  |
| 計   |    | 1,655 | 1,365 | 904 | 8,449 | 915  | 344 | 1,290 | 400 | 962 | 3,057 | 19,341 |
| 前年度 |    | 466   | 842   | 626 | 5,085 | 598  | 306 | 1,105 | 334 | 498 | 2,138 | 11,998 |

▶ それではこの一年間図書館はどれだけ利用されたか

○ 昭和44年度入館者数(学生)

| 学部別   | 学習室    |        | 開架閲覧室   |        |
|-------|--------|--------|---------|--------|
|       | 昭和44年度 | 前年度    | 昭和44年度  | 前年度    |
| 神学部   | 8      | 5      | 53      | 10     |
| 文学部   | 16,782 | 7,675  | 26,993  | 24,345 |
| 商学部   | 21,918 | 9,828  | 31,635  | 32,392 |
| 経済学部  | 16,708 | 8,760  | 27,416  | 26,747 |
| 法学部   | 12,617 | 4,565  | 20,207  | 13,851 |
| 短期大学部 | 1,066  | 371    | 3,583   | 1,403  |
| その他   | 70     | 6      | 173     | 75     |
| 計     | 70,774 | 31,210 | 111,907 | 98,823 |

○ 昭和44年度館外貸出人員(学生)

| 学部別   | 昭和44年度 | 前年度    |
|-------|--------|--------|
| 神学部   | 28     | 2      |
| 文学部   | 7,825  | 6,366  |
| 商学部   | 8,553  | 7,460  |
| 経済学部  | 7,911  | 6,514  |
| 法学部   | 5,293  | 2,499  |
| 短期大学部 | 1,795  | 638    |
| その他   | 82     | 12     |
| 計     | 33,331 | 23,491 |

○ 昭和44年度館外貸出図書冊数(学生)

| 分類別    | 昭和44年度 | 前年度    |
|--------|--------|--------|
| 0 総記   | 772    | 714    |
| 1 哲学   | 4,722  | 3,173  |
| 2 歴史   | 1,506  | 1,180  |
| 3 社会科学 | 18,899 | 13,729 |
| 4 自然科学 | 1,204  | 726    |
| 5 工学   | 456    | 322    |
| 6 産業   | 3,470  | 3,320  |
| 7 芸術   | 1,785  | 1,296  |
| 8 語学   | 1,233  | 979    |
| 9 文学   | 10,116 | 8,341  |
| 雑誌     | 625    | 579    |
| 計      | 44,788 | 34,359 |

○ 昭和44年度の図書館統計をだしてみました。この表をご覧になってもおわかりになるように、図書館の年間図書の受入冊数も、また利用者数も最近いちぢるしく増加してきました。

この傾向は今後さらにたかまっていくものと思われます。ちなみに例をあげてみますと、学習室の年間利用者は前年度の2倍以上の延70,774名に増加しましたし、図書の館外貸出者数も前年度より年間延9,840人増の33,331名となっています。

~~~~~ 奉仕係より ~~~~~

新入生を迎えたと思ったらもう衣替えの季節となり私達奉仕係も半袖姿ではりきってカウンターに接しています。近頃気になりますのは言葉の少い方が非常に多いことです。貸出なのか返却なのか、それとも本のあり場所がわからないのか、そのほかいろいろ何をしてあげたらよいか理解に苦しむのが常です。こちらの間に、とうとう最後まで首を縦か横にふるだけで終わってしまう方もあります。もう少し学生らしくはっきりした意志表示をとっていただきたいものです。それから最近レコードの利用が大変多くなりました。スカイメイトではないけれど空席待ちが続出で、うれしい悲鳴をあげておりますが、音楽の他に原語の戯曲・会話のレコードではLL程ではありませんが、米語、仏語、独語、スペイン語なども用意してありますのでどしどしご利用ください。(大塚美子)